
地域研究企画交流センター活動報告

グローバル化時代の地域研究をめざして

9・11事件の影が色濃く残る中で始まった2002年度、JCAS はグローバル化時代の地域研究の役割と可能性を問い直しながら、新しい体制で活動を始めています。課題は、地域に立脚しながらも世界を見据えた視点を重視すること、狭義の「研究」の枠を超えて地域研究の知を広く社会に問うこと、の2点。この『地域研究論集』も、座談会や地域からの発信を含めた新しい編集を試みました。連携・共同研究会、シンポジウム、ワークショップなど、活動全般を見直しながら今後ともこうした取り組みを継続していく予定です。

JCAS では今年度も3件のシンポジウムを実施しました。

富永智津子客員教授を中心に企画した国際シンポジウム「アフリカ史再考——女性／ジェンダーの視点から」（10月30日～11月1日）では、奴隷制から今日に至るアフリカ史を女性史／ジェンダー研究から再考しようとしたものです。例えば奴隷貿易がもたらした人口性比の不均衡はアフリカ各地の社会にどんなインパクトを与えたのか。植民地支配の経験はジェンダーをどう変えたのか。そしてアフリカの女性たちのアクティビズムは世界に何を問いかけているのか。3日間にわたって熱い討論が展開されました。

「ロギング・ロードを歩き交う人々——人の移住と熱帯林消失への地域研究的アプローチ」（研究代表者：阿部健一、共催：森林総合研究所，総合地球環境学研究所，

国立環境研究所，京都大学東南アジア研究センター，Center for International Forestry Research，12月5～7日，於京都）は、東南アジア，アフリカ，ラテン・アメリカの熱帯林消失問題を，人々の移住という視点から比較検討しました。熱帯林消失という地球全体にかかわる問題について，自然科学と社会・人文科学の両面から，地域特有の課題と熱帯林地域に共通する課題を整理し，消失をくい止める方策につながる研究を目指したものです。地域研究の視点から生態・環境を問うシンポジウムも回を重ね，国内外を結ぶ強力な研究ネットワークが形成されつつあります。

「紛争から復興・開発支援へ——地域研究から実践を考える」（研究代表者：臼杵陽・石井正子，共催：上智大学アジア文化研究所，上智大学21世紀 COE プログラム「地域立脚型グローバル・スタディーズの構築」，1月17～19日，於上智大学）は，紛争地域への援助や復興支援に求められる「知」のあり方を，NGO，国際機関，研究者が一堂に会して討論しようとしたものです。事例として東ティモールとアフガニスタンを取り上げ，現地 NGO の参加も得て，活発な議論が展開されました。実践のなかで地域研究を考える試みは日本ではまだ多くはありません。地域研では今後ともこうした試みを継続したいと考えています。

今年度は以上3件の国際シンポジウムに加えて，『『開発』と地域社会：開発戦略の再考にむけて』（2月7～8日，於一橋大

学) など4件の国際ワークショップを開催しました。地域研究の「交流」を目指して、今後も新しい領域や手法に挑戦しながら、現代世界の直面する諸課題を取り上げていきたいと考えています。

この他にも、JCASは15件の連携・共同研究会、ペルー問題研究所との研究協定に基づくペルー・プロジェクトなど多彩な活動を展開しています。是非、JCASのホームページ (<http://www.minpaku.ac.jp/jcas/>) をご覧ください。

人の動き (2002年度分)

採用：石井正子 (助手, 東南アジア地域研究, NGO 論)

小森宏美 (助手, バルト三国の近現代史, 政治)

移籍：松原正毅 (国立民族学博物館民族社会研究部へ)

『地域研究論集』寄稿の御案内

『地域研究論集』は、地域研究に携わる研究者はもとより、隣接分野・異分野の領域に関わる方々などに広く開かれた雑誌として、年2回刊行しています。

本誌は、地域から世界を、また世界から地域を見つめる論考を募集しております。分野・地域は問いませんが、初出論文に限ります。

寄稿要項の詳細は、地域研究企画交流センターのホームページ (<http://www.minpaku.ac.jp/jcas/points/>) に掲載しておりますので、ご覧ください。「地域研究論集編集事務局」(jcasrvw@idc.minpaku.ac.jp) あてにメールにてご相談いただいても結構です。

なお、平成15年度の投稿論文の締め切りは第1号が2003年6月末日、第2号が2003年11月末日です。

編集後記

地域研究は今、アクチュアリティが要請されており、地域研究者も同時代と向き合う必要があると思う。そんな気持ちから今号から新たな試みを始めた。特集では「地域からみた9・11の1年後」というテーマを取り上げた。さらに論文という体裁にはこだわらないで、座談会とエッセイというこれまでにないかたちで問題に切り込んでみた。読者諸氏のご意見、ご批判を請う次第である。(臼杵 陽)

『地域研究論集』 JCAS Review Vol.5 No.1

特集：「9・11」以降、世界は変わったのか——地域研究の視点から

初版発行 2003年2月28日

編集・発行 国立民族学博物館

地域研究企画交流センター JCAS

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1

電話 06-6878-8343 FAX 06-6878-8353

E-mail : jcasmail@idc.minpaku.ac.jp

URL (JCAS Web) : <http://www.minpaku.ac.jp/jcas/>

制作

株式会社 平凡社

〒112-0001 東京都文京区白山2-29-4

電話 03-3818-0873 (代表) 03-3818-0874 (営業)

ISSN1343-1897

© 国立民族学博物館 地域研究企画交流センター

© 2003 by the Japan Center for Area Studies

Published by the Japan Center for Area Studies,

National Museum of Ethnology, Osaka, 565-8511 Japan

Printed in Japan